

第1号様式

令和5年度 第1回 保土ヶ谷区地域自立支援協議会 全体会 議事録		
日時	令和5年6月1日(木) 14:00 ~ 16:15	
開催場所	保土ヶ谷公会堂1号会議室	
出席	名簿のとおり	
欠席		
開催形態	公開(傍聴人: 名) ・ 非公開 記録:	
議	司会進行: 遠藤(基幹相談支援センター) 議事録: 大竹(区社協)	
	1 挨拶	
	保土ヶ谷福祉保健センター 高齢・障害支援課 近藤課長より 自立協の重要性が増していること、自立協と区役所との連携や区の実践についてお話をいただきました。アウトリーチ支援事業は3年目を迎え効果検証を行う時期。共生社会の実現に向けて地域と企業も一緒に障害福祉を進めていきたい。	
	2 自立支援協議会と保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会について	
	保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 代表 石田氏(夢21福祉会)より 自立支援協議会の目的、6つの機能、運営面の説明。また、保土ヶ谷区の自立協の4つの理念、目標と令和5年度の目標について説明。昨年度障害者権利条約の総括所見が示されたこともあり、区内でもそれをどう捉え考えていくのか、皆さんと話していきたい。障害への考え方も障壁を取り除くことから、包括的に参加できるような仕組みを検討する段階にきている。実践者がいると関係者のネットワークができる。皆さんの実践を話し合う機会としたい。	
	3 各部会より令和4年度報告・令和5年度実施概要	
部会	R4	R5
○事務局 夢21 石田氏	全体会1回、代表者会3回をオンラインとのハイブリッドで実施。	新たに担当者会議を年2~3回設け、部会連携を深める。事務局はそのバックアップを行う。
○事例検討 基幹吉田氏	年3回の研修実施。テーマは「児相の役割」「虐待防止」「愛着」で実施した。	R4と同様のスケジュールで対面で実施。参加者増に向け放デイや学校に伺う予定。
○余暇部会 区役所菊地氏	7月と3月にほっとフレンズとして余暇事業を実施。ポッチャ体験を実施した。	ほっとフレンズを年2回から3回に増。7月、11月、3月に実施の予定。
○ほっとらんど トラック力石氏	西谷地区センターを使用できなかったが、会議はリモートで3回実施。	4月から西谷地区センターで実施。参加事業所は3つのみのため参加できる事業所を募集中。
○自主製品販売 かるがも 会武藤氏	星川駅での販売(相鉄沿線3区連携の取組)、かるがも20周年フェスティバルでの福袋作成、イオン天王町店での販売。	星川駅での販売継続、チアアップほどがやの復活を検討中。12事業所が集まっているがさらに参加が増えると良い。

○当事者部会 希望の家早坂氏	会議は4回実施。シンポジウムを実施でき、地域の方から様々な意見を頂けた。学校からの福祉教育の相談も多い。	コロナでできなかったが、映画上映会を1月から2月あたりで実施したい。
○まちで暮らす いわまわーくす高 桑氏	拠点の周知と事例検討を1回実施。グループホーム連絡会を行い困りごとを共有した。	引き続き周知活動。自分たちの事業所の拠点における役割の確認。事例検討は「暮らす」というテーマで実施予定。GH連絡会も実施予定。
○防災 虹の会菅田氏	被災地障害者センターの机上訓練実施。市内でも初の取組。災害時に対応可能な事業所で何をするか検討。	センターの机上訓練を継続実施。研修会も行い訓練内容の情報交換を行う。
○精神net 生活支援センター 佐藤氏	家族や当事者のお話を聞く機会、病院の地域移行、事例検討等実施。	改めて目標を確認して設定。にも包括や事例検討をメインに実施し同時に情報交換を行う。
○相談支援 夢21谷口氏	制度上単独で行うのは困難。より良いサービスのためのスキルアップ勉強会などを実施。	体制を整えて2年目となるため、来てよかったと思われる企画を行いたい。

4・5 グループワーク ～テーマ～「みんなに共有したいこと！！」

テーマに基づき12グループに分かれ共有した内容を発表した。

グループ	内容
5	課題やニーズを共有する横の連携が必要だが、どう連携していくか。当事者家族との関わりも、高齢化といった課題が出ている。
1	各々のサービスの説明を行った。家族問題は本来はサポート外の話だが、対応が必要になっている。
11	時間が少なかった。部会に参加したいがその方法が分かりにくいので整理して周知してほしい。支援学校が定員割れしているという話が出て驚いた。重度の方の卒業後の行き先も不足している。
12	どこも悩みが多い。職員の人員不足、定着不足はどこも共通の課題。地域との交流においては地区社協の会議へ参加している事業所もある。今後はグループホーム卒業後の取組も課題。
3	中学校の話題。精神障害の保護者が多くなっており、子どもとの関りに悩んでいる方が多い。精神の方が家庭を持てるようになったことは良いことだが、相談できる場所が増えることが必要。
7	コロナの影響で販路が狭く、工賃や仕事が少なくなった。部会への参加をしたいがその方法を教えてほしい。

6 まとめ

保土ヶ谷福祉保健センター 高齢・障害支援課担当係長 市川氏より
 久しぶりの完全対面開催で多くの参加に感謝。今回のワークのテーマ設定の理由は、自立協の目的と参加者の目的が日頃のつながりによる発信や気づき、事業の周知など緩やかにつながることが大切と考えたため。これからも、分かりやすく参加しやすい環境を整えて

いきたい。また、職場に戻ったら今回の内容を共有してもらい意見もいただきたい。

7 その他 情報共有

- ①ラポール上大岡から施設の紹介。2020年にサテライト開設。地域に出て様々発信を行っている。中途障がい者を中心に地域支援事業を行っていた。今回は事業所の中でできるレクリエーションの提案。瀬谷区の自立協とも協働している。
- ②夢21上星川より。チラシ配布。コーヒーショップを開店。利用者がひとつづつ手作業で豆を加工。地域ケアプラザの会議でも発注してもらっている。
- ③活動ホームゆめより。当事者目線の障害福祉推進条例を配布。
- ④ほどがやゆめあんより。あんしんキーパーの勉強会実施。チラシを配布。
- ⑤就労B型ウィアーより。スマイルガーデンのエプロン刺繍作業を行った。お仕事募集中。
- ⑥エンラボカレッジより。横浜事業所オープン。自立訓練とはの内容で企画あり。
- ⑦旭区の計画相談オレンジ横浜より。契約数は300名ほど。何をしてくれるのか、何でも相談できるのかなどの問い合わせが多くなっている。出張説明も可能。

最後に事務局から事務連絡。

・次回代表者会は10/26から変更となり10月中旬から下旬に開催予定。決定したら改めてメールにてお知らせします。

・自立協のホームページの会議録ページのパスワードは今回の資料の名簿の一番最後に記載「**Hd20gy23**」に変更。6月2日からはこのパスワードを使用してください。